

「つくる」こと「届ける」こと

CORLEO FARM 代表 西谷諭



セレクトショップから柑橘農家へ 農業10年間の思い

西谷氏は、農家の息子でもなく、もともとは都心でセレクトショップの経営をしていた。「つくる」から関わる農業分野に関心を抱いていたことから前職のセレクトショップをたたみ、2年間の農業研修を行ったとのこと。他分野からの参入は大変な苦労があったようだが、農業への熱い思いは10年経っても変わらず、着実に経営の規模拡大を進めてこられた。今年は初心に帰って果樹の管理を徹底したいとのこと。



CORLEO FARM の柑橘

全国産直食材AWARD2026 銀賞受賞

西谷氏は、毎年自分の中でテーマを設けて営農しているとのこと。今回は、柑橘を「つくる」ことだけでなく「届ける」ことにも向き合い、販売面の強化に取り組んでこられた。受賞は、柑橘がたくさんの方の食卓に届き、皆さんの笑顔につながっていることを実感できて経営の大きな励みとなっているとのこと。アパレル業界時代のノウハウを活かし、きめ細やかな心配りが結果に結びついたようです。



西谷氏のハウスにて

これから新規就農を目指す方へ

農業はすぐに結果が出るものではないため、自分は農業で何を目標とするのかという軸を明確にしておくことが重要です。栽培技術などは先輩を通じて得ることはできますが、思いは誰かに与えられるものではありません。

西谷氏の農業という仕事、ブラッドオレンジへの思いは強く、この揺れ動かない思いがあるからこそ、農業を続けてこられたのだらうと感じました。



西谷氏が育てるブラッドオレンジ

農家になったきっかけ	自分で作って売るとい農業に関心を抱き、2年間の研修を経て農家へ転身
栽培品種	ブラッドオレンジなど15品種
栽培面積	約4 ha (テニスコート150面分くらい)
農業歴	約10年 (研修期間含む)